



慈愛の種を  
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

RIテーマ

国際ロータリー第2750地区多摩東グループ 東京多摩グリーンロータリークラブ

# Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2002-12-18 第587回例会 NO.13-23 2002-12-25 発行

◎司会 SAA委員会 根本 泰守

◎点鐘 会長 小坂 一郎

◎ロータリーソング「日も風も星も」  
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 小坂 一郎  
・多摩郵便局局长 柴 鎮夫 様  
・多摩公証人 小田 泰機 様

◎会務報告 会長 小坂 一郎

- ・本日、18日第12回理事会を開催致します。時間は6時から事務局にて行います。
- ・昨日(16日)より、2750地区会長、幹事が新宿京王プラザホテル多摩にて開催され、平野幹事と共に出席してまいりました。ご報告申し上げます。
- ・京王プラザホテル多摩よりお歳暮を頂きました。ありがとうございます。

◎幹事報告 幹事 平野 行廣

- ・東京府中、東京日野、東京飛火野RCより例会変更が来ております。
- ・東京レインボーRCより事務所移転のお知らせが来ております。新住所は下記の通りです。  
〒105-0003 港区西新橋1-12-1 西新橋1森ビル9F  
TEL03-3500-5955/FAX03-3500-5956
- ・先程会長から説明のありましたRotary International Gold Master Cardの入会申込書が地区から届いております。お申し込みされる方は事務局まで。

## 【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 加藤喜三郎

- ・会員総数 42名
- ・出席義務者数 41名 (出席免除者2名)
- ・出席者数 31名
- ・欠席者数 10名 (事前MU2名)
- ・出席率 80.49%

・欠席者：足立潤三郎、遠藤 二郎、萩生田茂夫、  
桧垣 昭、伊澤ケイ子、小城 章員、  
正房 正孝、佐伯 和廣、関岡 俊二、  
由井 眞司

・補填MU：伊澤ケイ子 12/10 R財団奨学委員会  
関岡 俊二 12/12 杉並RC

12/4 最終訂正出席率 85.37%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 玉木 直美

- 小坂 一郎 柴局長、ようこそ。本日の卓話期待しております。
- 平野 行廣 柴局長、卓話宜しくお願い致します。
- 赤尾 恭雄 今日家内もソロプチミストの例会に出席したいとのことで、静養先の伊豆高原を往復です。
- 宮村 宏 1月10日から18日オーストラリアオープンを見に行つて来ます。興味ある方がおられましたらご紹介下さい。
- 津守 弘範 柴多摩郵便局長さん、卓話楽しみにしております。
- 大松 誠二 柴局長さん、いつもお世話様です。年賀状はまだ出してませんが・・・
- 高木 淳光 柴局長、本日は宜しくお願い致します。
- 杉野志保子 先週、お休みしましたので。
- 杉山 英巳 後任の公証人 小田泰機さんをお連れしました。
- 〃 昨日、弁護士バッジの貸与を受けて来ました。
- 藤原 正範 もうすぐ、クリスマスなので。
- 田島真由美 赤尾さん、先日はお世話になりありがとうございました。

本日の合計 ¥16,000 (累計 ¥532,250)

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491  
E-mail tamagr@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階  
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30  
【会 長】小坂一郎 【幹 事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子  
【委 員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝

## ◎その他の報告

### ・親睦活動委員会

委員長 海野 榮一

12月25日は今年最後の例会です。当日はクリスマス例会で年次総会です。お客様を多く呼びし、楽しいクリスマス例会(懇親会)の企画をしています。又、寿例会は3クラブ合同の例会です。クリスマス例会と寿例会の打合せを本日例会後、デュエットで行いますので親睦活動委員は参集下さい。

### ・お知らせ

高野 範城会員

11月14日(木)多摩市が主催し、パルテノン多摩・小ホールにて福祉オンブズマンの大きな大会があり、貴重報告を30分ほど致しました。来年1月1日から11日までの間、多摩テレビでその時の模様をAM11:00とPM6:00より1日2回放映されます。パネルディスカッションも行われましたので、皆様、是非見てください。

## ◎卓話『郵政事業の公社化について』

多摩郵便局長 柴 鎮夫 様



郵便局では今、年賀葉書を扱っています。この意味は二通りありまして、年賀葉書を売っています。というのは年賀の引受をしています。という意味です。

元旦配達の期限は、一応公式には12月24日頃までにお出し下さいとお願いしていますが、では25日じゃダメなのかと言われるれば、大丈夫でしょうと答えざるを得ませんができるだけ早く願います。期間中は、高校生を中心に、約450名のアルバイトを使いまして、年賀状を取り扱っております。

多摩市内に元旦に配達される年賀状は約270万通。一人当たり19.3通、一世帯あたり45通平均となります。郵便番号をきちんと書く事が早く着く秘訣です。

さて、明年4月1日から公社になりますが、その前はどうかにかについて話します。

日本の郵便制度は明治4年に発足しております。この時は郵便だけでして、明治8年に保険はずっと後の大正5年にスタートしました。郵便局は現在全国に24600所在しておりますが、そのうち約19000局が特定局です。約4500が簡易局であり、1200が普通局と言います。

多摩郵便局は普通局であり、ここにおいでの方の多摩センター局は特定郵便局となります。

先ほど、明治4年に郵便制度が発足したと申しあげましたが、発足したばかりの明治政府に金などあるわけもなく、当時の庄屋さん、地主さんに建物を提供してもらっていました。この場合の提供の意味は、ただでと言う事です。これが特定局の発足です。誠にうまいやり方ではお上の権威など塵よりも軽いのですが、当時はお上の御用を務めるのもステイタスがあったので、郵便局長という名誉を与える代わりに建物を提供させました。当時、官設の・・・即ち、国で建てた郵便局は東京中央と京都中央しかなく、あとは全て特定局であり、日本の郵便局の歴史は特定局の歴史と言ってよいと思います。

かくゆう多摩郵便局も昭和3年に多摩郵便取扱所として関戸に特定郵便局としてスタートしています。昭和5年に多摩郵便局に改称し、配達業務も行うようになりましたが、特定郵便局である事はかわりなく、普通局になるのは遥か後代の昭和42年です。

郵政民営化はいつからやるのかと言う話がよくあります。ところが、民営化するとは決まっていけないのです。政府レベルで民営化の話が出たのは、平成9年の行政改革会議の中間答申で、郵便は国営のまま存続、貯金は条件整備の上、将来民営化、簡易保険は速やかに民営化と答申されました。しかし、最終答申は5年後に新たな公社にする事に決定したわけです。その5年後が平成15年の公社スタートとなるわけです。

昨年から今年にかけて郵政3事業あり方懇で討論はされましたが、あれは私的機関であり政府の話ではないのです。

130余年の歴史があることは必要があったからです。そして、それはわが国の発展に大きく寄与してまいりました。又、社会的インフラとして必要な部分であり、経済性だけで論じる事は文明社会としてどうかという気がします。先ほど全国26700の郵便局があると申しあげましたが、全部の局が黒字ではないのです。山間や離島に限らず赤字の局は存在します。しかし、それを必要としている人も多くいるわけであり、もし儲からないから止めるとなったら、その方達の生活はどうなるのでしょうか。民営化という事はそういう危険性を孕んでいるという事です。

公社になっても皆様のご利用がなければ、郵便局の存在はなくなってしまうわけですので、なにとぞ、引き続きのご愛顧をお願い致します。



◎点鐘

会長 小坂 一郎

(今週の担当 藤本 吉文)